

NEWS RELEASE

2022年8月31日

会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ
代表者名 代表取締役社長 田島 克洋
(コード番号 3266)
問合せ先 取締役経営企画部長 阪本 浩司
(TEL. 03-5212-5212)

国内の有望ベンチャー企業へ投資する新ファンドの設立及び募集完了のお知らせ

この度、当社の連結子会社である株式会社ファンドクリエーションは、国内の未上場かつ今後の大きな成長を見込める有望ベンチャー企業に投資する新ファンドを設立し、その募集・販売を完了いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. これまでのベンチャー企業投資への当社グループの取り組み

当社グループは、これまで国内での不動産、太陽光発電設備や国内外の金融商品を対象アセットとする多様なファンドを開発、設立し投資家の皆様に提供してまいりました。

金融商品を対象アセットとする公募投資信託といたしましては、中国及び東南アジアの上場株式を投資対象とするファンドのほかにも、日本国内の有望ベンチャーを投資対象とする「上場期待日本株ファンド」、中国の有望ベンチャーを投資対象とする「上場期待中国株ファンド」を一般投資家の皆様に提供してまいりました。(いずれの上場期待ファンドも、現在は償還済)

また、当社グループからの直接投資や公募投資信託の開発の他にも、中国の大手ベンチャーキャピタルであるフォーチュンリンク社と提携して設立した私募ファンド「リンクンオリエンテッド第一号投資事業有限責任組合」の投資先からは既に上場を果たす企業もでるなど、ベンチャー企業の発掘や選定について、これまでに豊富なノウハウや知見を蓄積してまいりました。現在においても、当社グループが展開する多様な事業や、これまでに構築した情報ネットワークを通じて得られる有望ベンチャー企業との接点の創出と情報の取得を継続して行っております。

この度の新ファンドは、こうした当社グループに蓄積されたノウハウや知見、情報を活用し、有望ベンチャー企業への投資機会を提供するものであります。

2. 新ファンドの設立について

新ファンド『F Cベンチャー企業投資任意組合』は、一般の投資家の方々にも将来性が有望なベンチャー企業に投資する機会の提供を目的として設立いたしております。

ご注意：この文書は当社グループの新ファンドについての記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。



これまで、一般投資家がベンチャー企業へ投資を行うのは困難な状況にありました。創業して間もないスタートアップ企業への投資は現在でも可能であるものの、その情報は少なく、また投資リスクも非常に高いものとなります。

一方で、会社が相応に成長し、革新的な技術や成長が見込める調達シリーズA以降のベンチャー企業への投資は、一部のプロ投資家等やVCファンドなどを通じての投資に限定され、一般投資家の方々が投資する機会は、ほぼない状態にあります。

この度の『FCベンチャー投資任意組合』は、調達シリーズA～B以降の有望なベンチャー企業を当社グループが発掘・選定し、一般投資家の皆様にファンドを通じて投資いただくものです。今回は、1号ファンド・2号ファンドの2本のファンドを設定・募集し、既に販売が完了しておりますが、ベンチャー企業及び一般投資家の皆様の需要に応じて、今後も新規ファンドを設立してまいります。

当社グループといたしましては、一般投資家の皆様への投資機会を提供するとともに、ファンドを通じて有望なベンチャー企業の資金需要に応えることにより、そうしたベンチャー企業の育成にも貢献してまいりたいと考えております。

3. 今後の業績に与える影響について

本件が2022年11月期の連結業績予想に与える影響は、軽微と考えております。また今後、業績に重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上